

光葉ワーキングクラブメールマガジン

<2017年2月号>

119号 2017.02.02 配信

2016年12月22日の新潟県糸魚川市の大規模火災で被災されました皆様に、心からお見舞い申し上げます。

寒波の日もあれば、春の陽気の日もあります。春はどこまで来ているのでしょうか。受験、卒業、就職、期末と忙しい季節でもあります。寒暖の差も大きいので体調管理に気を使いますね。

■同窓会だより

◆新支部設立総会のご案内

光葉同窓会国内 51 番目の支部として、文京区・千代田区・中央区・江東区・港区・品川区・大田区の 7 区の新支部設立総会が開催されます。

- ・日時：2017年2月19日（日）受付 10：00～
- ・支部設立総会、写真撮影、懇親会 10：30～13：30
- ・会場：昭和女子大学 学園本部館 3階 大会議室

*上記7区在住でお返事を出されていない方は、出欠の返信をお願いいたします。

■学園だより

◆東明忌

本学の基盤を築きあげられた学父人見圓吉先生と学母緑先生の遺影が飾られます。

日時 平成 29 年 2 月 3 日（金）・4 日（土） 10：00～16：30

場所 「先哲の碑」前（悪天候の場合は、学園本部館 1階ロビー）

◆キャリア支援センターから「社会人メンター募集」のお知らせ

学生と信頼できる社会人が直接出会い、卒業後のキャリアプランやライフスタイルについて相談できる機会を大学が提供する制度です。皆様、ぜひ後輩のためにご応募ください。

◆2017年度春期社会人メンター募集のお知らせ◆

募集期間：2017年3月13日（月）～3月31日（金）

応募要件：原則3年以上の社会人経験のある女性

その他詳細につきましては、募集期間中に公開いたします募集要項をご参照ください。

応募方法：募集期間中、大学ホームページ (<http://univ.swu.ac.jp/>) の、「お知らせ／公開講座・イベント」欄にて、募集要項ならびに応募フォームをご案内いたします。

選考方法：書類審査のうえ、面談をさせていただきます。

○社会人メンターネットワークについては、下記ホームページをご参照ください。

<http://dream.swu.ac.jp/recruitment>

◆国際交流センターから「ホストファミリー募集」のお知らせ

昭和女子大学国際交流センターでは卒業生のホストファミリーを募集しています。
皆様、ぜひご応募ください。

◆2017 ホストファミリー募集中

国際交流センターでは、月に1~2回程度留学生を自宅に招いて食事をする、あるいは一緒に外出するといった交流制度にご協力いただけるホストファミリーを募集しています。

【日程】2017年4月~8月頃

3月中旬に担当していただく留学生をお知らせします。4月の頭に顔合わせを予定しています。

【使用言語】日本語(初級修了程度)+留学生の母国語+英語

※交流時の使用言語は日本語のみで可

【留学生の出身国】韓国、台湾、中国、イタリア、リトアニア、ロシア、ベトナム 計21名

【募集要件】

- 5カ月間定期的に月1~2回程度ホストファミリーとして留学生と交流いただける方
- 異文化交流に関心を持ち、留学生を温かく迎えて下さる方
- 軒茶屋からの移動時間が2時間程度までにご自宅がある方

【応募締切】2017年2月28日(火) ※ホストファミリー希望家庭が多い場合は抽選となります。

【お問い合わせ】昭和女子大学国際交流センター

ciestaff@swu.ac.jp

TEL:03-3411-5249 FAX:03-3411-6973

■広げよう光の葉

水嶋 眞由美 さん

1981年 文家政学部生活科学科卒

(福井県支部)

私は、大学卒業後、郷里で学校給食の栄養士に進みました。当時の仕事は、主に給食管理が中心でした。しかし、2005年の食育基本法の制定とともに、給食管理にあわせ子供達の教育を担う栄養教諭制度がスタートしました。福井県は「食育の祖」とされる石塚左玄(軍医)のふる里でもあり、知事もこの制度を全国に先駆けて導入し、10名の栄養教諭を配置しました。私もその内の一人でした。現在では、全国に6000人以上の栄養教諭の仲間が誕生しています。

教育の中で、知育・徳育・体育のバランスのとれた力、すなわち「生きる力」のベースとなる食育を行うことが、栄養教諭の仕事です。今、おもてなしや感謝の心が生きた「和食」が世界的にも注目されています。「いただきます」のあいさつができる子は、しっかり食べる。しっかり眠る子は、しっかり食べる。こんな当たり前の習慣が、よい習慣を生み日本の文化が培われてきました。しかし、この素晴らしい日本の食文化は継承されているとはいいがたく、将来を担う子供達への食育の重要性を感じながら、日々おいしい学校給食作りと子供達や地域の中で奮闘しています。

End